

令和7年度（2025年度）福祉・家事援助サービス事業 各種研修日程

※研修は東京都内のシルバー人材センター会員の方が対象です。

※日程や場所など、変更になる場合があります。

☆家事援助サービス基本研修

研修名	定員	日数	日程	会場
1 家事援助サービス基本研修①	25	2	6月12日(木)・13日(金)	東京しごとセンター
2 家事援助サービス基本研修②	25	2	12月11日(木)・12日(金)	三多摩労働会館

☆生活支援サービス研修(調理)

研修名	定員	日数	日程	会場
1 生活支援サービス研修(調理)①	15	1	6月26日(木)	新宿区「ここから広場」しごと棟
2 生活支援サービス研修(調理)②	15	1	8月5日(火)	府中市市民活動センタープラッツ
3 生活支援サービス研修(調理)③	15	1	11月21日(金)	府中市市民活動センタープラッツ
4 生活支援サービス研修(調理)④	15	1	令和8年3月5日(木)	港区立男女平等参画センター リーブラ

☆生活支援サービス研修

研修名	定員	日数	日程	会場
1 生活支援サービス研修①	25	5	5月15日(木)～27日(火)	三多摩労働会館
2 生活支援サービス研修②	25	5	8月1日(金)～13日(水)	シアター1010及び千住消防署
3 生活支援サービス研修③	25	5	11月4日(火)～17日(月)	中野セントラルパーク
4 生活支援サービス研修④	25	5	令和8年3月3日(火)～13日(金)	三多摩労働会館

☆生活支援サービス研修(家電・洗剤)

研修名	定員	日数	日程	会場
1 生活支援サービス研修(家電・洗剤)①	15	2	7月16日(水)・17日(木)	東京しごとセンター
2 生活支援サービス研修(家電・洗剤)②	15	2	8月28日(木)・29日(金)	三多摩労働会館
3 生活支援サービス研修(家電・洗剤)③	15	2	令和8年1月20日(火)・21日(水)	三多摩労働会館
4 生活支援サービス研修(家電・洗剤)④	15	2	令和8年2月25日(水)・27日(金)	三多摩労働会館

研修を受講するには

「生活支援サービス研修」の全日程を一度に受講できない方は、受けられるカリキュラムだけでも是非受講ください。
次回以降の研修で未受講のカリキュラムを補講として受講することができます。

所属されているシルバー人材センターへお申し込みいただきます。
(まだ会員でない方は入会手続きをしてください。)

東京しごと財団が各シルバー人材センターからの推薦に基づき受講者を決定します。(先着順となります。)

東京しごと財団から、受講決定者へ受講決定通知と研修についてのご案内をご自宅へ郵送いたします。

研修の概ね1か月半前から各シルバー人材センターで受講者の募集を開始します。
受講料は無料です。(テキスト、上級救命講習受講等全て無料です。)

研修に関するお問い合わせはこちらへお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人 東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)
総合支援部 シルバー人材センター課 シルバー事業係
TEL 03-5211-2314



<https://www.shigotozaidan.or.jp/>



<https://www.tokyosilver.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

発行月:令和7年5月

令和7年度（2025年度）福祉・家事援助サービス事業 研修のご案内

元気なシルバーが地域を支える!!

学んで一歩先へ!!



「家事援助サービス、生活支援サービスで働こうと思っている」
「すでに働き始めた」「介護保険制度を知りたい」など
安心して働くために、働いてよかったと思えるために、ぜひ研修を受けてみましょう!



公益財団法人 東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

シルバー人材センターは地域を支えています！

生活支援サービス研修

年4回 三多摩労働会館(立川)などで実施

上級救命講習
も含めて
5日間

あなたの出番!!
シルバー人材センター

介護保険制度の改正に伴い「介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)」の生活支援サービスを担当するシルバー人材センターが東京都内全センターの半数以上となっています。また、各シルバー人材センターでは介護予防や認知症対策が課題となっています。

本研修では、生活支援サービスの基本を、介護保険制度や認知症の理解などと共に学びます。

■主なカリキュラム(基本型) ※消防署の都合等によりカリキュラムの日程の順番が変更になることがあります。

1日目	5.5H	2日目	5H	3日目	5H	4日目	8H	5日目	5.5H
<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉サービス ●介護保険制度 		<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援の基本 (ヒヤリハット、記録・報告の方法、生活支援の実際等) 		<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーター養成研修 ●老化の理解 ●利用者の理解とコミュニケーション 		<ul style="list-style-type: none"> ●上級救命講習 消防署にてAED使用法、心肺蘇生法、外傷の応急処置などを学びます。 		<ul style="list-style-type: none"> ●支援における尊厳の保持・自立支援 ●これまでの研修の振り返り 	



「生活支援の基本」では、会員の方同士で実際に車椅子に乗る、車椅子を押すという貴重な体験が得られます。



3日目の「認知症サポーター養成研修」を受講すると、認知症を支援するサポーターの「目印」としてオレンジ色のブレスレットの「オレンジリング」をお渡しします。
(認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする人です。)



*全研修時間の80%以上のカリキュラムを累計で受講すると当財団から「修了証」が発行されます。
*上級救命講習を受講すると東京消防庁より「上級救命技能認定証」が発行されます。本認定証は生活支援サービスだけでなく、保育補助、施設管理など幅広い職種で就業する方に有益な資格です。

研修を受講した会員の皆様の声

- ▶ 現在自分は支援する立場だが、将来支援を受ける場合は自分の希望を伝えたい。同じ思いで高齢者の方の希望に沿える支援をしたい。
- ▶ 介護職員の減少の一方で、支援を必要とする高齢者が増加する現状で、家事援助サービスの大切さと必要性を感じた。
- ▶ 無理せず楽しみながら、かつ安全性を重視した片付け術が学べた。
- ▶ 筋肉の衰えを年齢のせいにならずに、何歳からでも筋力をつけるための体操や日常の動作を実践しようと思った。

認知症サポーター養成講座受講生の感想

- ▶ 具体的な例題と講師の体験も含まれ、認知症の理解が深まった。
- ▶ 自分の勉強不足をあらためて認識した。今後に活かしたい。
- ▶ 訪問した利用者の状況に思い当たる点ばかりで、よく理解できた。
- ▶ 初めて認知症について勉強したが、資料もわかりやすかった。
- ▶ 認知症の方に愛情を持ち、その方の人間らしさを大事にする接し方が素晴らしいと思った。
- ▶ 認知症の方が社会と共生する手助けを自分が少しでもできればと思った。
- ▶ わかりやすい説明で、周囲の人たちの話し方が重要であるとわかった。
- ▶ 利用者が大切にしていることを優先し、コミュニケーションを大事にしていこう実践したい。
- ▶ 実際には大変なことだが、認知症の方を否定せず受け入れることが大切だと分かった。

【新規】生活支援サービス研修(家電・洗剤)

会員の方などからご要望の高かった、「家電の正しい取り扱い方法」や「適切な住居用洗剤の使い方」をテーマにした研修を開催いたします。家電を扱う際の注意点やポイント、また、住居用洗剤について扱う際の注意点やポイントを学び、安全に就業するための研修です。新たに家事援助サービスに従事する会員の方も、経験豊富な会員の方や会員コーディネーターの方もぜひご参加下さい。

年4回 東京しごとセンター(飯田橋)と三多摩労働会館(立川)で実施

■主なカリキュラム(研修例)

1日目 4.0H

●家電の正しい取り扱い方法

2日目 3.5H

●適切な住居用洗剤の使い方

2日間

家事援助サービス基本研修

年2回 東京しごとセンター(飯田橋)と三多摩労働会館(立川)で実施

初めて就業しようとする方向けの基本的な研修です。「家事援助サービス」ってどんな仕事なの? どのような点に気をつければ良いの? などなど。疑問や心配にベテラン講師がお答えします。シルバー人材センターの職員や先輩会員が、就業現場でのあるあるでお答えします。

■主なカリキュラム(過去の研修例)

1日目 5H

- 福祉・家事援助サービスの基本
- 福祉・家事援助サービスの実際(ともにセンター職員及び会員の体験発表)

2日目 5H

- 福祉・家事援助サービスにおける接遇及び個人情報保護
- 福祉・家事援助サービスにおける安全就業



2日間